



～戮力協心～ **NO.1** その1

2023年7月21日

発行責任者 池尻 和寛

編集責任者 情 宣 部

昨1年の総括とむこう1年の方針決定！

第37回定期全国委員会 開催！



JR貨物労組青年部は7月17日～18日に、みなかみホテルジュラクにて「第37回定期全国委員会」を開催、全国から委員42名、傍聴35名が結集しました。コロナ禍前の取り組みを取り戻すべく、4年ぶりに泊で、通常規模での開催としました。多数の皆様のご協力のもと、無事成功裡に終了しました！

来賓には中央本部・高木委員長をはじめ、全国OB会、JR総連、貨物労連青年部連絡会、JR総連青年協議会、9条連から総勢10名の方々が、ご多忙の中お越しくださいました。

冒頭、池尻青年部長（写真→）は挨拶の中で、JR貨物改革の闘いについて、平和について、総団結方針貫徹について、『JR貨物労組青年部35年の道』について、そして自身の本部青としての原点と“考動”について話しました。

質疑応答では計29名の委員から発言があり、年末手当の闘いや2023 JR総連春闘における成果と課題について、慢性的な要員不足や災害対応の労苦等の職場環境問題について、JR貨物存立基盤の問題について、昨今の情勢を踏まえた平和意識の向上や憲法改悪阻止について、総団結方針貫徹について等々、多岐にわたる発言が出されました。

こうした問題の解決にむけ、青年部が職場から声をあげ続けて闘いをつくり出すこと、組織における現状維持は後退であり、当たり前前の組織運営の追求にむけて「党派の介入を許さず」「綱領、規約・諸規則、機関決定を守る」ことで組織強化をはかること。その中でも青年部らしく「明るく・楽しく・元気よく」運動を推し進めることを全体で共有し、意思統一をはかりました。

答弁の後、中央本部岡組織部長から感想を頂き、永井事務長の総括答弁、池尻青年部長の団結ガンバロー！で定期委員会を締めくくりました。

